



地域づくり団体全国研修交流会に参加して

地域活性化委員長 佐野 達也

9月29日（土）と30日（日）の二日間、地域づくり団体全国研修交流会がありました。協議会からは澤口会長、石野副会長、大島建築委員長と私の4名、市役所からは文化課の松澤主事、橋本主事の2名の計6名で参加しました。

この大会は来年が福井県主催でこの小浜市も分科会を担当するので、分科会の運営内容を知っておくようにと県からの推めもあり、勉強してきました。

29日朝7時に出発して約4時間で鳥取県倉吉市に到着。まずは全体会に参加しました。全体会は鳥取県立倉吉未来中心大ホールで行われ、来年主催地である西組のPRをして、わが町に来てくださいとステージに登壇してきました。我々の他に、若狭町・勝山市・福井市の方達も、当然来られていました。

昼食後、我々は鳥取県の11分科会あるなかの第3分科会の会場である境港市へ移動しました。観光ボランティアの皆さんに出迎えていただいた後に、境港最大のお寺「正福寺」を拝観しました。このお寺は『ゲゲゲの鬼太郎』の作者水木しげる氏ゆかりの寺です。氏は幼いころ「*のんのんばあ」にここに連れて来られた時、お寺にかかる地獄絵図を見たのがきっかけで、幽霊を題材にしたアニメが出来たといわれています。

さて、境港市はNHK朝の連続テレビ『ゲゲゲの女房』以来爆発的に観光客が増え、年間350万人が訪れているそうです。この観光資源に対しここでは地域の商店街の皆様と観光ボランティアの皆様が主体となってまちづくりを進めているようで、私達にきめ細かい「もてなし」をしてくださいました。行政はあくまでも裏方として役割をされているようです。



水木しげる記念館前にて

* 「のんのんばあ」とは、少年時代の水木しげる（本名・武良茂）の家にお手伝いに来ていた「景山ふさ」という老婆のこと。境港では神仏に仕える人を「のんのんさん」と呼び、ふさは拝み屋の妻だったため「のんのんばあ」と呼ばれた。



境港のボランティアの方々との交流会

また、交流会での夕食は境港市食生活改善推進協議会の皆様の手作りだということを知り、驚き感心し「もてなし」の心にまた触れることができました。

今回限られた時間の中で、境港の見所を効率よく周り、また皆さんの活動を拝見してきました。特に印象

に残ったことは“観光ガイドでまちおこし”と言われるとおり、水木しげるロードでのボランティアガイド（男性）の熱心さです。西組も境港の皆様のような「おもてなし」が出来るよう、改めて考え直すよい機会となりました。

来年の今頃は小浜西組町並み協議会でも分科会を持ち運営しますので、福井大会の成功へ向けて、準備を進めて行かなければなりません。

とにかく協議会の皆様のご協力なしには成し遂げられませんので、ご理解とご協力をお願い申し上げて、地域づくり団体全国研修交流会の報告とします。

小浜西組町並み協議会 第3回役員会報告

日時：平成24年10月2日（火）19:30～21:00

場所：鹿島 町並み保存資料館

1 小浜市より報告、依頼事項

街路整備について、推進協議会を設置して進めています。西組協議会より、委員を選出していただいております。澤口会長、山田満さん、中島福則さん、佐野達也さん、山田規久子さんの5名です。

平成25年度景観形成助成事業の見積書と設計図の提出を11月中旬までをお願いしたいと思います。

10月21日（日）に修理見学会を開催します。参加者は9:30に町並みと食の館前に集合してください。

各区説明会を本年も2月頃に行いたいと思います。区民の皆様の動員について、役員の皆様の協力をお願いいたします。

2 協議事項

1、委員会報告

活性化委員会：町家deフェスタについて、にぎわいを創出できたと思います。ありがとうございました。

- 2、**環境整備委員会**：小浜公園の看板の修繕が必要という件、クーラーの室外機の塗装が剥げてきた件、消火器を各区に配った分の設置場所の確認が必要だという件、みぞ蓋を直さなければならないという件などが報告されました。
- 3、**資料館運営委員会**：資料館の管理人さんであった四方様が一身上の都合でその職を辞されました。三宅様に後任をお願いしていますが、もし管理人のご希望等がありましたらお申し出ください。
- 4、**建築委員会**：懸案になっております「通り抜けご遠慮ください」の看板を10月中には設置いたします。

3 その他

1、地域づくり団体全国研修交流会視察報告並びに福井大会の打合せ報告

会長、石野さん、佐野さん、大島洋一さんと市の担当者で出掛けました。すごい歓迎ぶりで色々勉強になり、参考になりました。当協議会でも半纏^{はんてん}や名刺を作ったらどうでしょうか？

2、文化庁調査官との懇親会について

11月7日にふれあいセンターで19:00より行います。会費は1,000円で当日徴収します。

懇親会は西組協議会が主催となりますので、文化庁の方に熱意を表すためにも、たくさんの人数で参加したいと思います。

事務局で取りまとめますので、10月末日を目途に、参加者のお名前をお寄せくださいますよう、お願いいたします。お返事は事務局のメールアドレス宛にお願いします。



第5回ちりとてちん杯全国女性落語大会実行委員会

委員長 西村光弘

きっかけとなったのはNHKドラマ「ちりとてちん」でした。落語とは全く縁がないと思っていたこの西組界隈が、落語という伝統芸能の視点から見直せば生き生きと蘇ることを、このドラマは教えてくれました。そのことから、主催者の我々が、全国女性落語大会の会場を西組地区にお願いしたのは、必然の成り行きだったのです。結果はおかげさまで大成功でした。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今回の成功を受けて我々の夢はますます広がります。例えば、三丁町界隈を落語



参加者の熱のこもった高座の様子

横丁にして見るというのはどうでしょう。道具屋、代書屋、浮世床が軒を連ね、親子茶屋からは三味線、^{おおど}大鼓の音。^{すみよしかご}住吉籠が客待ちしていて、^{てっち}丁稚の^{とつ}定吉が嬢やんのお供で稽古屋さんへ。向こうからは八五郎坊主がトンコ節を唄いながら走ってきて、質屋蔵の中では歌舞伎の真似事。長屋の連中は貧乏花見の準備で大にぎわい、「背を早み～岩にせかるる滝川の～」と大声で歩くのは

熊五郎。その日は、皆さんが落語の登場人物になりきって、三丁町を落語横丁に作り替えてしまうのです。

考えてみるだけで心踊ります。全国どこを探してもこんな企画ができる地域はめったにありません。きっと全国の落語ファンが集まってきて大賑わいの一日となるのではないのでしょうか。

ぜひ、皆さんも落語に興味を持って下さい。月例の「はまかぜ寄席」に通っていただいて、生の落語を聞いて、思いっきり笑ってください。そして、町並み保存につなげましょう。

最後になりましたが、この度の全国女性落語大会に大変お世話になりましたこと、改めてお礼申し上げます。



審査員の先生方（写真上）と観客（下）
《たる井会場にて》

小浜西組町並み協議会からの ● お知らせとお願い ●

資料館管理人募集！

町並み保存資料館の管理人の四方澄雄様が一身上の都合で辞められました。少しでも興味のある方はお申し出下さい。お待ちしております。
問合せ先 53-2327(澤口会長)

建築委員会より ベンガラ格子補修体験会を行ないます

日時 平成24年11月11日(日) 13:30～16:00
集合場所 小浜公園内の東屋
持物 手が汚れるので軍手をご用意下さい。
作業ができる服装でご参加下さい。

多くの方の参加を
お待ちしております。